

特異な政治体制のもとを不屈の闘志で生き抜いた天才

ショスタコーヴィチ その3

＝ ロマンチック・ショスタコーヴィチ ＝

前回の交響曲編は、共産主義政治体制の迫害と抑圧との葛藤の中から生まれた曲なのでおしなべて暗い曲ばかりでした。ショスタコーヴィチの不遇の時代、生活を維持するために、無声映画の即興ピアノを演奏したり、映画音楽をも手がけています。その他、オペラ、バレエの曲もあります。彼の娯楽音楽も数多くあるも、一つとして手を抜かず交響曲、弦楽四重奏曲や協奏曲と同様、最高の輝きを持った音楽であると思います。今回は、一息入れて、それらの中から比較的明るく、ロマンチックであり、ノスタルジックでもあり、時に皮肉に溢れた曲の幾つかを紹介いたします。



＜紹介する主な曲＞

1. 映画音楽「馬あぶ」より数曲
2. ピアノ協奏曲第2番 第2楽章
3. バレエ音楽「黄金時代」より数曲
4. Jazz Suite NO.1, No.2 より
5. 他



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC) 分科会へのご案内 (会員による自主講座)

日時／ 2018年1月14日(日) 13:30～15:45

場所／ 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者／ 山本 一成 全10回予定

参加自由・入場無料

問い合わせ／090-5422-5479 脇田 <http://www.aafc.jp/>



AAFCは創立以来月2回の例会を欠かさず行っています。次回は1月14日(日)・28日(日)の9時半から、つくし野ホールにて開催。見学自由です、お気軽に直接おいで下さい。